

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	入間(6)建物設置工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県狭山市稻荷山2丁目3番地	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年8月31日
敷地面積	3,509 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,428 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月31日
延床面積	2,841 m <sup>2</sup>	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)										
<p>BEE = 0.5 ★★★★☆ A: ★★★★☆ B: ★★★★ B+: ★★★ C: ★</p> <table border="1"> <caption>標準計算</caption> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>#VALU E!</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>#VALU E!</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>#VALU E!</td> </tr> <tr> <td></td> <td>46</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したもので</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	#VALU E!	③上記+②以外の	#VALU E!	④上記+	#VALU E!		46	<p>30%: ★★★★☆ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★</p>	
①参照値	100%											
②建築物の取組み	#VALU E!											
③上記+②以外の	#VALU E!											
④上記+	#VALU E!											
	46											

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 2.1	
<b>Q 環境品質</b>	<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>
	Q1のスコア = 2.4	Q2のスコア = 2.1
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>	<b>Q3のスコア = 1.8</b>

LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 2.9	
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR1のスコア = 3.9</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>
		LR2のスコア = 2.5
<b>LR3 敷地外環境</b>	<b>LR3のスコア=2.1</b>	

3 設計上の配慮事項	その他	
<b>総合</b> 本建物は航空自衛隊入間基地内に配置される事務所棟である。 建物外皮の性能を向上させ熱負荷低減を図っている。	<ul style="list-style-type: none"><li>特になし</li></ul>	
<b>Q1 室内環境</b> <ul style="list-style-type: none"><li>自然換気を可能とし、外気導入による空気質改善に配慮している。</li></ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>内装仕上材の更新必要期間が長いものを選定し、永く良い状態で使い続けられるよう配慮している。</li></ul>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>高木が多く配置されていることで、敷地内の温熱環境向上に繋がっている。</li></ul>
<b>LR1 エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"><li>適切な断熱を行い、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。</li></ul>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"><li>汚染物質を含有する材料の使用を低減し、環境負荷削減に配慮している。</li></ul>	<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"><li>高木が多く配置されていることで、敷地外への温熱環境向上に配慮している。</li></ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**入間(6)建物設置工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						
<b>Q1 室内環境</b>						
<b>1 音環境</b>						
1.1 室内騒音レベル		2.2	0.15	-	-	2.2
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.40	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
<b>2 溫熱環境</b>		2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御		2.1	0.50	-	-	
1 室温		2.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		2.6	0.25	-	-	2.6
3.1 昼光利用		2.4	0.30	-	-	
1 昼光率		2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		3.0	0.40	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.30	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		2.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		2.6	0.25	-	-	2.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気		2.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	2.1
<b>1 機能性</b>		1.8	0.40	-	-	1.8
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		1.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		2.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		2.5	0.30	-	-	2.5
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.2	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		1.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

天井仕上材に化粧石膏ボードを採用し、機能維持を図った。

<b>3 対応性・更新性</b>	<b>3.1 空間のゆとり</b>	<b>1 階高のゆとり</b>	<b>1.6</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.1</b>
		<b>2 空間の形状・自由さ</b>	<b>2.0</b>	<b>0.60</b>	-	-	
	<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>1.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
	<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>2.0</b>	<b>0.30</b>	-	-	
	<b>1 空調配管の更新性</b>		<b>2.6</b>	<b>0.40</b>	-	-	
	<b>2 給排水管の更新性</b>		<b>2.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	
	<b>3 電気配線の更新性</b>		<b>2.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	
	<b>4 通信配線の更新性</b>		<b>3.0</b>	<b>0.10</b>	-	-	
	<b>5 設備機器の更新性</b>		<b>3.0</b>	<b>0.10</b>	-	-	
	<b>6 バックアップスペースの確保</b>		<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>1.0</b>	<b>0.50</b>	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	<b>0.50</b>	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.9</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	開口部の大きさを抑え、熱負荷を低減した。			<b>5.0</b>	<b>0.20</b>	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	<b>0.10</b>	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.67			<b>4.3</b>	<b>0.50</b>	-	<b>4.3</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>2.5</b>	<b>0.20</b>	-	<b>2.5</b>
<b>集合住宅以外の評価</b>				<b>2.5</b>	<b>1.00</b>	-	
<b>4.1 モニタリング</b>				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	-	
<b>4.2 運用管理体制</b>				<b>2.0</b>	<b>0.50</b>	-	
<b>集合住宅の評価</b>				-	-	-	
<b>4.1 モニタリング</b>				-	-	-	
<b>4.2 運用管理体制</b>				-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>				<b>3.0</b>	<b>0.60</b>	-	
<b>1 雨水利用システム導入の有無</b>				<b>3.0</b>	<b>0.70</b>	-	
<b>2 雜排水等利用システム導入の有無</b>				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>2.4</b>	<b>0.60</b>	-	<b>2.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>				<b>2.0</b>	<b>0.10</b>	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>				<b>2.0</b>	<b>0.10</b>	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>2.6</b>	<b>0.20</b>	-	<b>2.6</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				<b>2.5</b>	<b>0.70</b>	-	
<b>1 消火剤</b>				-	-	-	
<b>2 発泡剤(断熱材等)</b>				<b>2.0</b>	<b>0.50</b>	-	
<b>3 冷媒</b>				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				<b>2.0</b>	<b>0.33</b>	-	<b>2.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.8</b>	<b>0.33</b>	-	<b>2.8</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>	大気汚染の対象となる燃焼機器を使用していない			<b>5.0</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				<b>2.0</b>	<b>0.50</b>	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				<b>2.2</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>1 雨水排水負荷低減</b>				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>2 汚水処理負荷抑制</b>				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>3 交通負荷抑制</b>				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>4 廃棄物処理負荷抑制</b>				<b>2.0</b>	<b>0.25</b>	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>1.6</b>	<b>0.33</b>	-	<b>1.6</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				-	-	-	
<b>1 騒音</b>				-	-	-	
<b>2 振動</b>				-	-	-	
<b>3 悪臭</b>				-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>				<b>1.6</b>	<b>0.67</b>	-	
<b>1 風害の抑制</b>				<b>1.0</b>	<b>0.70</b>	-	
<b>2 砂塵の抑制</b>				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	-	
<b>3 日照阻害の抑制</b>				<b>1.6</b>	<b>0.33</b>	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>1.0</b>	<b>0.70</b>	-	
<b>1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策</b>				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	-	
<b>2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策</b>				-	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

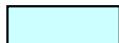
建物名称	入間(6)建物設置工事	BEE	0.5	BEEランク	★★
------	-------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア		
2.0	+	2.0	= 4.0
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減	スコア平均 2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>	
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮 スコア 2.0
<配慮した内容を記述>	
(2) 緑の保全・創出	
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>	
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出 スコア 2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上 スコア 2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善 スコア 2.0
<配慮した内容を記述>	



: 入力欄